

行政視察等報告書

平成28年8月29日

米子市議会議長様

会派名 改進

代表者氏名 遠藤 通

提出者氏名 戸田 隆次



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	岡田啓介、戸田隆次
期日	平成28年8月23日から平成28年8月24日まで
〔概要〕（年月日・場所・内容） 場所：リファレンス駅東ビル（福岡県福岡市） 内容：研修会「人口減少時代の課題と公共施設政策のポイント」 8月23日「公共施設マネジメント1」 8月24日「公共施設マネジメント2」	
〔所感〕 別紙のとおり	
経費	旅費総額 146,308円

【報 告 書】

「人口減少時代の課題と公共施設政策のポイント」研修会参加について

1. 日時 平成 28 年 8 月 23 日~24 日
2. 場所 福岡市（地方議員研究会主催）
3. 内容 「公共施設マネジメント 1～2」

1) 公共マネジメント 1 について

- ①国の公共施設白書によると公共施設の耐用年数は、概ね 50 年と想定
- ②公共施設の今後のあり方については、市民の生命と財産を脅かす【時限爆弾】
と思料する
- ③施設更新費用の財源確保が重要課題である
- ④行政改革の根幹的課題という認識が必要
- ⑤ 首長の強いリーダーシップが求められる
- ⑥公会計改革との結合
 - ・ 固定資産台帳で、正確な状況把握
 - ・ 設備の減価償却の組み込みで【老朽化】判定
 - ・ 建物、設備情報で更新の優先順位判断
 - ・ 事業別、施設別【財務諸表】の整理
 - ・ 複式簿記・発注主義会計で、脱【削減主義】
 - ・ 【運営】から【経営】への発想転換
- ⑦ 公共施設マネジメントの【方程式】

財源確保＝総面積の統廃合（面積圧縮率）＋民営化（経費圧縮率）＋受益者負担増（受益偏在改善率）＋遊休資産活用（売却・貸付率）

*単純な面積圧縮でなく【縮充】

⑧ 公共施設マネジメントの【体系】

・データ把握（財政の中期計画・財務データでの資産状況の把握・固定資産台帳整備・公共施設インフラ状況把握・白書の作成）



・実施体制（公共施設・インフラ対策本部設置—本部長は首長・専任部署配置）



・対応メニュー（効率的管理運営・小中学校の統廃合・インフラの広域的対応調整・適正な受益者負担等の料金体系検討・廃止資産の活用売却）



・PDCAサイクル（評価手法の開発整備—PDCA）

2) 公共マネジメント2について

①公共施設の【縮充化】促進

②機能ベースの施設再編成推進

③現行の【行政財産】管理は縦割り行政で管理されており、条例・料金規定・

固定化・目的外使用不可等の構造であり、社会構造の変化に対応が出来ない

④施設から機能への発想転換（総合相談窓口・情報資料コーナー・ラウンジ整備）

- ⑤台湾の【無人図書館制度】の事業活用
- ⑥図書館・公民館・老人福祉等センターの活用について要検討
- ⑦行政の業務分析を行い、委託・指定管理者制度の積極的導入を図る
- ⑧行政施設（清掃工場等のハード）の管理は、包括で専門業者へ
- ⑨自治体の責任—業務委託・指定管理者の責任明確化

3) 考察

本市においても、公共施設の老朽化は顕著です。公共施設等総合管理計画を策定し、その対応に取り組んでいる状況下ですが、具現化はされておられません。小中学校等の耐震化工事は完了しましたが、小学校においては、昭和30年代に建設された校舎もあり、大規模改修工事が急務です。一方、人口減少状況下でありそれらの推移状況を踏まえ、小中学校・保育園及び地区体育館の統廃合に係る個別管理計画の策定が急務と考える。また、生活排水処理対策が本市において重要課題であり、その内訳は、公共下水道事業・農業集落排水事業・合併処理設置事業であるが、将来人口の減少化を見据えた事業展開とされておらず、特に公共下水道事業について現計画においては、今後25~30年間で約300億円投資する事としている。将来人口減少化の中、今後予算編成において、義務的経費・扶助費の増が見込まれ投資的経費の確保が困難と想定され、費用対効果の検証が求められると思考します。市民体育館の老朽対策も急務であり、その財源確保を見極める必要がある。本市の一般会計予算の脆弱さは否めず、早急に公会計の導入を図り、公会計と結合した各公共施設個別管理計画の策定について当局に提案し、早急に事業着手すべく求めていきたいと思料します。